

いけだ

No.113

議会だより

平成29年1月25日発行

願いをこめて 三九郎づくり

(鵜山子ども会)



12月定例会 休日議会を開催

町民の皆さんと議会との意見交換会 …… P.3

一般会計補正予算の目玉 …………… P.4～5

ここが聞きたい(一般質問) …………… P.8～12

新年のあいさつ

絆を大切に より良い町づくりを



議会議長
那須 博天

新年明けましておめでとうございます。明るい、そして希望の持てる新年を、ご家族皆様でお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。年頭に当たり議会を代表して謹んで新春の挨拶を申し上げます。

皆様には常日頃、「ご支援、ご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。

議会は行政のチェック機関であり、議決したことは町民の皆様に対して重大な責任を負っています。インターネットや、議会報などで公開することにより、より多くの皆様に関心を持っていただくよう努めてまいりますので絶大なるご指導、ご協力をお願い致します。

昨年九州熊本地震、鳥取地震の発生による大きな災害の発生、長雨、台風による北海道・東北での水害など異常気象による災害が全国各地で発生しました。池田町でも、中島、広津地区など8月の大雨により土砂災害等がありました。幸い大きな災害にはならず、幸い、良かったと思っております。

農業関係におきましては、池田町農業の主力である稲作が、来年30年度から減反政策が変更になり水田に対する取り組みが大きく変わろうとしています。昨年より進めている農業組織の法人化を含めた取り組みにより、農地集積や規模拡大・生産性向上に、より強く

取り組まなければなりません。農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。一日も早く改善するところ、生き残れる道だと思っております。

町においては、地域交流センターの建設が始まります。また、総合体育館の改修、弓道場の移転など大型事業がすすめられます。財源確保にしっかりと取り組みなくてはなりません。35%を越した高齢化率や40人程度の出生者による少子化を考えますと医療、福祉、介護などの充実こそが健康で楽しく暮らせる町づくりにつながると思います。

生活関連の整備、福祉対策、農林業、商工業、観光の充実を進め、この雄大な自然に負けない池田町として発展するよう願う所であります。

お互いの絆を大切にしてい、良い年になってほしいと思います。

皆様のご多幸と益々のご発展をお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。

12月定例会

休日議会

12月定例会は12月13日から20日まで開かれた。議会基本条例に基づき、12月18日（日曜日）に休日議会を行い、9人の議員が町政を質した。議場での傍聴者は延べ21人、町のホームページでの議会中継視聴者は約30人であった。提出された28年度一般会計補正予算など議案5件、意見書1件を審議し、全て可決した。

議会中継で不手際があったことお詫び申し上げます。



活発な論議をした休日議会

休日議会 傍聴者の声

- 池田町で取組まれている休日議会は多くの町民の民意を反映しており、素晴らしいと思います。更に、住民福祉の向上・地域経済の活性化に頑張ってください。
(松川村議会議員)
- 当面の課題や将来構想など、多面的な質疑応答がなされ、今後の町の将来像について考えるきっかけを頂きました。
(一町民)
- 日曜議会の開催にも関わらず、ことのほか傍聴人が少なかったのは残念。本腰を入れた町民一体化による行政の構築が必要。
(一町民)



開かれた
議会を目指し

第4回「町民の皆さんと議会との意見交換会」を開催



池田町議会基本条例に基づく第4回「町民の皆さんと議会との意見交換会」が11月17日から12月1日まで開かれた。2自治会（一丁目、内鎌）と町商工会の3団体と意見交換会を開催し、参加町民は延べ53名であった。

交換会では町政・議会に関することなど様々な意見要望・質問が寄せられた。議会では寄せられた項目を検討し、議会として直ちに町民の皆さんに回答すべき事項、議会として調査研究すべき事項に分け、検討結果は次号の「議会だより」で紹介する。今回は直ちに町民の皆さんに回答すべき事項をお知らせする。

問 27年度池田町国民健康保険特別会計（国保）の決算で、「議会だより」と「町広報」とで、数字が違う。理由は。

答 「議会だより」では、27年度の各会計の実際の黒字額を示しました。27年度に国庫負担金の療養給付費等負担金が精算で2366万3851円の超過交付となりました。このお金は国に返還しなければならないので、「町広報」の額から返還額を引いた額が実際の黒字額となり、「議会だより」では実際の黒字額を表記しました。次年度会計の繰越金は実際の黒字額に基づき決められます。今後は（注）で数値の説明をするなど、分かりやすさに努めます。



町商工会との意見交換会

問 常任委員会は公開で、傍聴できるか。委員会開催日を事前に知らせて欲しい。

答 町議会基本条例及び町議会委員会条例により常任委員長の許可を得た人は傍聴できます。ご希望の方は議会事務局（電話62-9529）にお申し込みいただきたいと思います。なお、委員会の日程はこの10月から町ホームページ議会欄に（会期日程）掲載しております。今後、さらにお知らせする方法を検討します。

問 地域交流センターの予算（12.9億円）に音響などの備品費は計上されているか。

答 町の説明では、「音響は本体工事費のなかに計上されており、備品費（机、イスなど）は4,700万円を計上している」としています。

問 地域交流センターの東側用地取得に補償料を払った理由は。

答 町の説明では、「公共用地取得する場合、損失補償料（用地代、営業補償など）を払うことは国土交通省の要綱で決まっている」としています。



意見交換会で出された 主な意見・要望

- 池田町の補助や支援策は、少しずつ他の自治体より水準が低い。他と合わせる方策を。
- 池田町の水道料は県下でも高い。議会としても改善の検討を。
- 町なかの活性化対策について議会も一緒に考えて。
- プレミアム商品券事業のやり方を工夫して。
- 防災無線に雑音が入り聞こえない。対策を。



護者の支援・産業振興を進める 可決！

予算決算特別委員会

質 疑

消火栓の点検

問 防災訓練の際、消火栓の水が出ないことがあった。消火栓の点検についての強化が必要ではないか。

総務課長 今回、消火栓の一斉点検を行ったところ5か所で不具合がでたので予算計上した。今後も毎月消火栓の水を出し、点検するよう消防団に周知した。



消火栓取り換え工事箇所（豊町）

出産児数の減

問 町は出産見込みを60人から40人とし、出産祝い金予算を100万円減額した。出産児数の減をどのように考えるか。

町長 11月末までの新生児は25人で、昨年の約30%の減で危機的状況である。安曇野市も含む広域連携での結婚推進及び子育て支援に取り組む。



町なかの 道路除雪

問 町なかの道路除雪でトラブルがあると聞く。トラブルが発生しないよう話し合いができないか。

建設水道課 町なかで除雪すると道路脇に雪が残る。近隣のご協力に対応して戴ければありがたい。除雪を望まない方の前の道路は融雪剤を撒くことで対応している。しかし、路面が危険な場合には配慮せざるを得ないことも理解して欲しい。



町なかの道路除雪

会染小学校 プール案内 看板

問 会染小学校のプール案内看板設置を予算化した理由は。

教育課 会染小学校のプールは学校入り口から西側の奥にあり、場所が分かりにくい。プールでの事故が起きた際、救急車が迷う恐れがある。PTAから要望もあり、案内看板を設置する。



会染小学校プール

12月
定例会

学校環境の整備・在宅介 補正予算を

 一般会計補正予算で決まった事業はなに？

目玉事業 ピックアップ

池田小学校の
大規模改修工事
(第4期)
5,829万円
財源：国交付金 1,962万円
起 債 2,900万円
一般財源 967万円



大規模改修が行われる池田小学校

- 《改修工事の内容》
- 床塗装：
特別教室、昇降口
 - 照明LED化：教室
 - 自動火災報知設置
改修：教室
 - 扇風機設置：
教室、特別教室

在宅介護者への
支援金支給制度が
復活しました！
539万円
財源：一般財源 539万円



申請月：2月
支給月：3月

- 支給額：要介護者1人につき年3万円
- 加算金：3千円（介護者の健康診断費用）
- 支給対象者
 - ・65歳以上の要介護度4、5の方を主に介護されている人
 - ・65歳以上の認知症自立度Ⅲ以上の方を主に介護されている人
 - ・特別障害者手当を受けている方を主に介護されている人
 - ・3歳以上の方で特別障がい者と同等以上の障がいのある方を在宅で主に介護されている人

鵜山ぶどう園整備・
町内水路改修を
進めます！
5,113万円
財源：県補助金 4,479万円
町事業債 60万円
一般財源 574万円



整備工事中の鵜山ぶどう園整備

- ・ワイン用のぶどうを2ヘクタール整備する。
- ・ぶどう栽培者は町内の(株)ヴィニョブル安曇野です。



林中水路改修工事箇所

- 《町内水路改修場所》
- 中島カニ沢
 - 内鎌・中の郷・滝沢水路
 - 鵜山・正科・林中水路



審査結果

12月定例会
提出案件

区分	件名	内容	審査結果
議案	町一般職職員の給与の一部を改定する条例	人事院勧告に基づき、4月にさかのぼり次の給与改定を行う。 ①初任給・若年層の給与を月1500円程度上げる。そのほかの職員は400円を基本(平均0.23%)に引き上げ改定する。 ②期末・勤勉手当を0.1ヶ月引き上げ、4.3ヶ月に改定する。(現行4.2ヶ月) ③配偶者・子・父母などの扶養手当を段階的に見直す。	可決
議案	町特別職(町長・副町長・教育長・議員)の給与の一部を改定する条例	町一般職職員の給与改定に準じて、期末手当の月数を0.1ヶ月引き上げ3.25ヶ月とする。	可決
議案	平成28年度一般会計補正予算	4～5頁に予算・審議内容を記載	可決
議案	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算	前年度の精算により407万円の交付金が入ったので、療養給付費と高額医療費を増額とした。	可決
議案	平成28年度水道事業会計補正予算	一般会計補正予算消防設備費の予算を用い、消火栓5か所の修繕を行う。	可決
発議	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	地方議会議員のなり手を増やすため地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を国に上げる。	可決

《総務福祉委員会などでの質疑》

Q 給与の条例改定でどの程度の予算増となるか。

答 町一般職職員・特別職合わせ450万円程度の増となる。

Q 町職員給与のラスパイレス指数はどうか。

答 96程度と予想する。

一口メモ

●ラスパイレス指数とは

各地方公共団体の一般行政職の平均給料月額を、職員の学歴別・経験年数別構成などが国と同一であると仮定し、国家公務員の平均給料月額を100として算出した指数のこと。

お詫び
と訂正

前号の議会だより15ページで「法人町民税改正に関する請願」について、「町商工会」から出されたと記載しましたが、正しくは「大北法人会池田支部」から出されました。おわびし、訂正させていただきます。

9月議会での 27年度決算審査意見に対する町回答

1 町税・国保・上下水道料金などの滞納額総計は約1億7100万円にのぼっている。全課を上げて連携をとり滞納削減に努力されたい。

町回答 個人情報保護に注意しながら次の対策をとる。

- 通常時の滞納整理の強化として春季（5月前後）及び冬季（11月前後）における一斉滞納整理月を設けて滞納額の削減を図る。
- 課を超えて役場全体での業務として課内外の情報交換連携を行う。

2 質の異なる自然災害が多発している。災害対応への取り組みを強化されたい。また、次の100周年に向け人口減を抑える取り組みに努力されたい。

町回答 防災担当職員1名を10月1日付けで配置し、平成29年度組織再編で消防防災の係（案）を創設し、災害対応への取り組みを強化する。

- 地方創生法に基づく「あづみの池田総合戦略」を柱に人口増対策を実施していく。

3 ゴミ収集量が再び増加し、穂高広域施設組合参加自治体で最下位となった。対策を講じられたい。

町回答 池田学問所の講座や自治会等で開催するごみの分別学習会に講師として出向き、ごみ減量化に取り組んでいく。



県道沿いゴミ収集場

4 ワインの里づくりに向け、具体的な取り組みをさらに進められたい。

町回答 今後、県内外のワイナリーの視察、ワイナリー希望者の把握などを行い、ワイナリーの建設及び運営方法について具体的な検討に入っていく。

5 今後増える大雨対策として内川とは別の大きな排水路設置に向け早急に研究を。

町回答 排水路設置に対する補助事業がなく、町単独での施工は難しいため、今後計画される圃場整備事業などでの対応を含め研究したい。

6 地域交流センターの公民館・図書館が町民に親しまれ交流の場となるよう計画策定・町民応援団の育成に努力されたい。

町回答 交流センター基本構想、ワークショップ、検討委員会また議会の皆様からのご指摘、ご意見に基づき検討を進めている。町民応援団は設置に向け検討をしている。



地域交流センター東用地の整備進む

ここが聞きたい

議員9名が一般質問



住民参加型の ワイン祭りに改善を

矢口 新平 議員

【振興課長】 来年から住民参加型を検討する

問 ワイン祭りは3回目となり定着してきた。町は、どんなワイン祭りを目指すのか。

答 町産ぶどうで醸造された美味しいワイン祭りとし、誘客を増やしたい。

問 祭りのマンネリ化がみられる。住民参加型のワイン祭りにできないか。

答 来年のワイン祭りは、役場の職員他にJAや商工会にも実行委員会に参加してもらい住民参加型イベントを検討する。

問 プレミアム商品券について

答 プレミアム商品券は販売日の一時間余りで売切れてしまった。行列に並んで買えない人々がたくさんいる。不平を言っていた。今後の方

策は。

答 高齢者・障がい者・子育て世代に優先購入が可能となる事前予約を行った。一ヶ月前に二千セット以上が売切れてしまい、当日は千セットを欠ける枚数しか残っていなかった。今後は、広く多くの町民に購入いただく工夫をした

問 ひとり3セットで家族が5名いれば15セット15万円購入でき、お金の余裕がある人が何かの目的のために大量に買ったのではないかと金持ちの為のプレミアム券に思えて仕方がないがどうか。

答 多くの町民に行き渡るために、

一人当たり・一世帯あたり購入限度額をつくりプレミアム率を見直し、工夫することが重要と考える。また、今回は3千セットから4千セットに増やすことも検討する。

てるてる坊主の巨大モニュメントを

問 池田町は「てるてる坊主の歌」発祥の地である。町をアピールするため町の玄関であるハープセンターに、てるてる坊主の巨大モニュメント設置はどうか。

答 池田町は「花とハープの里」として30年間取り組んでおり、「花とハープ」も定着しつつある。てるてる坊主モニュメントは将来構想として温めていく。



ハープセンター入口のてるてる地蔵尊

ワイン祭りの これからの進め方は

大出 美晴 議員

【町長】 お客様への絶好のプロモーションの場と考える



問 ワイン祭入場券の販売について、コンビニエンスストアなどでの販売も含め当日販売も考えてはどうか。

答 このことについては、事務局及び実行委員会において来年度に向けて研究をしていく。

問 この祭りを地域商業の販売チャンスと宣伝の場としてはどうか。

答 町内事業者の活性化、町内経済の更なる発展のためにも、今後一層積極的な出店と協力をお願いする。町としても情報発信の場として活

ワイン祭りを楽しむ参加者



用を考える。

問 ワイン祭りの仕掛けは町が考え、実行は町民が行うという考えはどうか。

答 次回から、JA・商工会など新しい方が実行委員会に参加していただく予定。多くの住民が参加協力できるイベント開催が可能か、仕組みづくりの研究もする。

問 ふるさと納税による寄付金額増を図るには、寄付金の伸びと費用対効果は。

答 直近集計では、件数713件で1547万円の申し込みがある。昨年に比べ大幅な伸びである。費用対効果は、必要経費が59%である。地場産品の売り上げ拡大、納税額の増大など、大いにメリツトがあると解釈する。

問 専門業者（ポータルサイト）が複数あつてはいけないのか。

答 複数化については、必要性や効果を踏まえた上で、対応していく。

問 町内の特産品や農産品をふるさと納税対象品として、自分たちで調査したことはあるか。

答 町として、特産品として返礼品になるか検討する中で、町内業者への説明会を行っている。返礼品の提供ができる事業者には、ホームページや広報誌などで呼びかけて、品数を増やして行きたい。



4月からの町組織改正の目的は

和沢 忠志 議員

【町長】時代の要請に的確に対応するために行う

問 町の組織改正とあわせ、職員の意識改革をどのように進めるか。

答 職員には常に住民感覚を大切にし、町で何が起こっているのかを常に意識させ、現場主義を徹底させる。また、スピード感をもって成果を上げ、コスト意識をもって、高い志と情熱を持ち活躍する組織・職員に変えていきたい。

クラフトパーク機能拡充計画は

問 クラフトパーク一帯のリニューアル・機能拡充計画の策定はいつか。入浴施設が最優先と考えるが。

答 29年度に計画案を作り、本年度中にワークシヨップを開催する。入浴施設は27年度に誘致を検討したが、受け手が



ワイン用ぶどう栽培予定地 8.5 ha (内鎌、赤田工業樹北)

問 昨年・今年のシャルドネ（白品種）は糖度や酸度で良い結果であった。課題は、平坦地のため冷気が滞留してしまふことである。シャルドネは問題ないが、メルロー（赤品種）は凍害に弱いため影響が出る。棚の張り方で改善できないか県農業改良普及センターを交えて検討している。

らず断念した。

意見 入浴施設は更に検討して欲しい。

ワイン用ぶどう栽培は

問 ワイン用ぶどうの栽培面積拡大計画は。

答 作つけ面積を現在の17・5 haから30 haを目指している。増やす内訳は、

29年度鶴山地区で3 ha、30年度波田見地区で1 ha、35年頃までに平坦部で8.5 haである。

問 栽培農家への支援体制は。苗木代の助成は必要と思うが。

答 ぶどう棚などの資材及び機械などの購入経費は国・県の補助金を充てる。資金調達は制度資金からサポートする。苗木代は農協と連携し、サポートしていく。

問 会染林中地区の試験圃場でのぶどう栽培結果と今後の見通しは。

答 昨年・今年の



不登校児への接し方、支援は

桜井 康人 議員

【教育長】家庭と学校、小中連携が必要

問 不登校及び、引きこもりの現状、対策は。

答 不登校の原因は家庭環境の変化、保護者の精神状態、友人関係、学力不振、集団不適応など、個々に違っている。対応する支援員は、家庭訪問、送迎、放課後や夜間の登校支援、校外学習指導等を行っている。不登校対策は児童生徒の初期サインや変化を見逃さないことである。今後はスクールソーシャルワーカーの活用も新年度の組織改革と合わせ、今後の課題とする。長期引きこもり者へ

の支援、対応については、障がい者に限定しての相談会を引きこもり相談会として間口を広くし支援している。しかし、一歩も外に出ない人については、実質支援ができないのが現状である。

問 三校でのいじめの対策は。

答 町は平成26年「いじめ防止基本方針」を策定した。その内容は、①未然防止策、②早期発見早期解決、③いじめ確認時対応の三つの基本方針に基づき対応している。今後、子どもたちには、いじめに打ち勝つ強い心精神力を育てる指導が必要になる。



登校する仲良し児童

問 子どもの貧困問題にどう対処しているか。

答 貧困といわれる所得のレベルは「4人世帯の可処分所得が250万円未満」くらいのイメージである。町の就学援助対象者は27年度53人で生活資金・居住・就労などでの不安者には、関係機関と連絡を取りながら相談にのっている。

問 安全な部活動の在り方は。

答 部活での怪我の実態は、平成27年度実績でバスケット部の8人を最多として全部活で18件である。怪我、トラブル原因は部員同士、生徒と顧問との摩擦により起こりえる。双方とも早期解決に向け、臨時の職員朝会、学級指導、教頭とのミーティング、顧問の研修などを行っている。

問 教員の不祥事多発の原因は。

答 違法行為を「他人ごと」と捉えてしまうこと。同時に毎日が忙しすぎて心に余裕がなくて、ストレスがたまるのが大きな原因である。



歴史・文化の伝統を
受け継ぐ取り組みは

横澤 はま 議員

【町長】総合学習講座で学ぶ機会を設ける

問 教育現場における「ふるさと教育」の取り組みは。

答 「地域と協働する学校づくり」を掲げて行っている。現地調査・取材・遠足・音楽祭等を通し、意識の醸成を図っている。

問 コミュニティスクールの進捗状況と今後の見通しは。

答 「こどもの学び支援塾」「教科学習支援塾」を行っている。また、「ふるさと学習支援塾」では総合的な学習を通し支援者の方と共に体験を通して学ぶ姿勢を育てている。来年度から地域交流活動の取り組みをする。

問 冊子「池田の文化財・池田ものがたり」の活用は。

答 教職員の研修会や各学年で活用をしている。「いけだ物語」塾を検討し

ている。

問 文化財保存対策としてプロジェクトチーム結成の考えがあるか。

答 文化財保護委員会ですべてプロジェクトチーム結成の考えがあるか。課題を整理し保存対策を見いだしてもらおうよう働きかけていく。現段階では結成は考えていない。

問 文化財マップの作成を。

答 ホームページとも合わせて検討していく。

問 文化財管理施設整備事業の進捗状況及び今後の施策は。

答 現在の図書館を改修し文化財管理施設とし、平成30年に設計、31年に施設改修が計画されている。検討が開始され先進地視察や地元の意向

の再確認をしながら具体的に進めていく。

地域交流センター実施設計について

問 町民がより納得できる意見交換の場が設定できないか。

答 意見聴取会での意見は取り入れられる部分は設計業者にお願した。

仕様や色づかいやイメージパーツや模型を示しアピールしていく。有効使用するソフト面については利用団体を中心に町民に意見を聞いている。



町教育委員会発行の「池田町の文化財」「池田ものがたり」

町のイメージアップを
どのように
図っていくのか

矢口 稔 議員

【町長】正確で魅力ある情報発信を積極的に行う



問 先日、大変ショックな事件が報道された。町民全体への偏見や差別などが危惧される。今後、町のイメージアップをどのように図っていくのか。

答 町のイメージはメディアなどによる報道と訪れた人の印象で作られる。町としては、町民が自信を持って暮らせる地域づくりを力尽くす。また、町長ブログや観光協会のブログを頻繁に更新することにより、正確でタイムリーな情報を発信していく。

問 町長が考える来年の漢字一字は何か。

答 発展、展開、展望、進展の「展」を表せる年にしたい。

防災訓練の見直し

問 毎年8月下旬に行われている総合防災訓練がマンネリ化している。

答 自主防災会からも実践に即した訓練ができないかとの要望もある。県と相談しながら来年度、より具体的なケースを想定した訓練を計画したい。

問 池田町は南北に長い。

大規模災害時には道路も寸断され、備蓄品を取りに行けない可能性がある。災害備蓄品の分散配置はできないか。

答 来年度、消防防災の専門部署を設置する。そこで検討する予定である。

子育て環境の充実

問 子どもたちを取り巻く環境への支援として、福祉の視点からサポートする「スクールソーシャルワーカー」を各学校へ配置するよう望むが。

答 4月からの組織改正の中で、子ども子育て推進室を設置予定である。

強風で大きな災害となった「糸魚川市大火」
多様化した災害に対する備えが必要



その中で、専門相談員を徐々に人数を増やしながら雇用していく予定である。現段階でははっきり答えられない。もし、配置ができない場合には、専門相談員が児童生徒の動向を把握して、速やかに県のスクールソーシャルワーカーにつなげる体制を構築したい。



町なか活性化の
方策について

倉科 栄司 議員

【町長】コンパクトシティー化を目指す

問 町なか活性化には、人が集まることが不可欠である。町長は選挙公約で町なか(中心市街地)再生・活性化をあげた。その活性化とはどのようなものか。またその実現のためには何が求められるのか。

答 町なかを一定範囲に集め、効率的な生活・行政を確立する「コンパクトシティー化」を目指す。

問 町なかを走る県道は道幅が狭く、路上駐車をすればすぐに渋滞が起きてしまう現状である。人が町なか集まりやすくするために駐車場の確保・整備が必要ではないか。

答 駐車場の確保は重要である。町なかで発生している空き地を集約する中で駐車場の確保を進めていきたい。



空き地が増えてきた町なか

問 池田町内への移住・定住を積極的に推進するため、地域おこし協力隊として二名の担当者が採用された。

町なかの空き家・空き店舗を活用し、移住希望者へ積極的に情報提供して欲しい。また、町外から池田町に移住・定住を希望する人達が、町で生計を立てられるような起業を目指す際、開業資金の助成などを考えるはあるか。

答 二名の地域おこし協力隊は、空き家の利活用を含め、住むための住居、新規出店者の空き店舗の活用などを積極的に推進していく。また、商工会にも起業したいとの問い合わせがきていると聞いている。どのような助成制度が良いのか、先行して制度化している例を研究・検討していく。

問 町内に虫くいのにできていない空き地の集約化を行い、町なか集合店舗のような形式の建物を建設する考えはあるか。

答 町なかの総合整備は土地の集約化が必要である。積極的に取り組み、ショッピングモールの建設も視野に入れていきたい。



小学校入学準備金を
3月支給に

服部 久子 議員

【教育課長】3月支給は可能である

就学援助の入学準備金
支給の充実を

問 中学校入学準備金の支給は今年度3月実施は可能か。

答 3月支給の準備を進めている。

問 小学校入学に同様な措置がとれないか。前々年度の税金納付額や、保育園入園時の所得で判断できるのではないか。

答 保育料決定の情報を税務係などから得て、入学準備金の支給対象者が決定すれば、3月に支給できる。

問 現在の入学準備金では足りない。国も認めて増額分を交付金に盛り込む方針である。増額を。

答 国の増額状況を見て当初予算で検討する。

問 特定健診料の無料化を小谷村、白馬村、大町市が実施している。池田町でも実施を。

答 当町は通常の受診科目に加え、心電図と眼底検査をしている。実質無料化になっている。

公民館の役割

問 公民館は地域住民の総合的な社会教育施設として設置されている。12月2日に「町民と政党の集い」池田町実行委員会主催の集会を町は前日に取り消した。どう対処するのか。

答 11月29日にチラシの内容の情報が入り、申請時に確認した。申請時は「会議」だったが「集会」になっていることや集会内容が公民館の使用制限に該当するなど、12月

1日の庁議で検討し、公民館が取り消しの判断をした。開催日前日の取り消しは、お詫びした。

問 昨年9月も公民館で「戦争法反対」の集会をした。国会議員、県会議員も集会で利用している。今回と矛盾しないか。

答 内容が社会教育法第23条に該当しなければ、すべての方に開放する。

問 公民館の行き過ぎた規制は、住民活動を制限することになるが。

答 今回は反省すべき点がある。申請時に内容をよく聞き、難しい場合は利用できるようにするにはどうしたら良いかの相談も受ける。



会場予定地だった池田町公民館



地域に出向いての
町政懇談会の開催を

薄井 孝彦 議員

【町長】 来年度からの実施に向け検討する

問 「町民主役の町政」を進めるため、町政懇談会の開催、及び町・町民などの役割、どのように力を合せて町づくりを進めるかなどを定める「町づくり基本条例」の制定に向け、研究できないか。

答 先進地の事例を学び今後、十分に研究していきたい。

問 介護予防・日常生活支援総合事業について

答 介護保険における要支援の訪問介護と通所介

問 介護保険から外され、来年度から市町村の「介護予防・日常生活支援総合事業（以降、総合事業）」に移ることになった。総合事業の一般介護予防事業をどのように進めるか。

答 要支援1・2の方の介護予防は「あづみ病院」に委託して行う。軽症の方の介護予防は健康体操や町の理学療法士の健康体操講座を開催する。介護予防を担う住民組織の構築に向けて取り組む。



町が作成した介護予防体操DVD

問 利用者の要望にそった総合事業にできないか。

答 町民目線の総合事業となるよう

問 総合事業のサービス利用料は従来と変わらないうか。また、設定された単価設定で事業者の経営は維持・できるのか。

答 サービス利用料は従来と変わらない方向である。事業者の単価は広域連合で事業者と協議し、合意されていく。

問 防災対策について

答 災害時医療・福祉救援活動に参加する資格ボランティア募集に向け検討できないか。

答 資格ボランティアの募集について可能か否かも含め検討していく。

問 住宅の耐震化を進めるため近隣自治体で進めているような新たな「住宅リフォーム助成制度」を再開できないか。

答 空き家のリフォーム助成は研究する。一般住宅リフォーム助成の再開は考えていない。

問 年度内に「町民防災講演会」の開催を。

答 年度内に開催する。今後も定期的に開催していく。

11月臨時会の概要

11月臨時議会は11月18日開かれ、町営バス購入仮契約の議案を審議し、可決した。

安曇野線に用いる
町営バス1台の
購入契約を認めた



更新される安曇野線バス

契約金額

746万9,609円

財源：

一般財源 747万円

町の説明

- 平成10年に購入した安曇野線バスは走行距離72万kmとなり、雨漏りの発生がみられるので更新する。
- 10社の指名競争入札を行い、町内業者に落札した。（落札率＝85.1%）
- 契約車種は29人乗りのバス仕様の車である。

議会協議会での質疑

- 問** 契約車種を採用した理由は何か。
- 答** 乗降口が運転席に近い車種は契約車種以外にない。
（注）500万円以上の備品購入は議会承認が必要となるので審議した。

閉会中の常任委員会活動

《総務福祉委員会》

- 町営バスの利用状況を試乗調査により検討します。
- 「子育て支援」について勉強するため町子ども支援センター長、神谷哲彦さんの講義を開催することになりました。開催日程は次のとおりです。参加希望者は議会事務局までご連絡ください。

日時 1月25日（水）、2月6日（月） 10:00～12:00



1月16日
子育て学習会

《振興文教委員会》

生きる力を育む 食育講演会

日時 2月21日（火） 13:30～15:30

場所 町役場 2階大会議室

講師 いちば さちこ
市場 祥子先生

39年間県内学校・給食センター勤務、文部省食育推進委員

入場無料



- 「池田町食育基本条例」の制定を目指しています。その第一歩として、日本で初めて「食育基本条例」を定め食育の町として有名な福井県小浜市へ1月26～27日に研修に行きます。
- 2月21日には県内の食育の権威者である「市場祥子」先生の講演会を開催します。どなたでも参加できます。

子どもの発達障害・愛着障害について①

前号「議会だより」の予算決算特別委員会審査で「子どもの発達障害」について記載しました。詳しく知りたいと思い、町子ども支援センター長 神谷哲彦さんに2回にわたり寄稿していただくようお願いしました。今回は「発達障害」編です。

■はじめに

「子どもの発達障害と愛着障害」については、様々な見解があります。今回の説明は、文部科学省の資料から引用させていただきました。ただ、このテーマをこの紙面で説明し尽くすことは不可能で、大まかな情報と受け止めていただき、皆さんが今後、子ども達の健やかな成長を支えるための学びのきっかけにいただければ幸いです。安易な「決めつけ」や「からかい」、「排除」の理由などになさらないようお願いいたします。

■発達障害について

発達障害者支援法には、「発達障害」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。



神谷 哲彦
子ども支援センター長
《略歴》長野県教員として11校勤務、現在町福祉課子ども支援センター長、日本発達障害ネットワークながの理事

名称は、研究が進むにつれて変わってきましたし、今後変わると思います。

近年、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害をまとめて自閉スペクトラム症と呼ぶようになりました。そのことをふまえ、以前の障害名で説明します。

◎自閉スペクトラム症

(1) 自閉症
3歳位までに現れ、①他人と社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害であり、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています。

(2) 高機能自閉症

前記「自閉症」のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいいます。中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定され

ています。

(3) アスペルガー症候群
知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものです。

(4) 広汎性発達障害

高機能自閉症、アスペルガー症候群は広汎性発達障害に分類されています。

◎学習障害（学習症）

基本的には全般的な知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものです。その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されますが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではないとされています。

◎注意欠陥／多動障害（注意欠如／多動症）

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力及び衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものであるといわれています。また、7歳以前に現れその状態が継続し、中枢神経に何らかの要因による機能不全があると推測されています。

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第2回 —

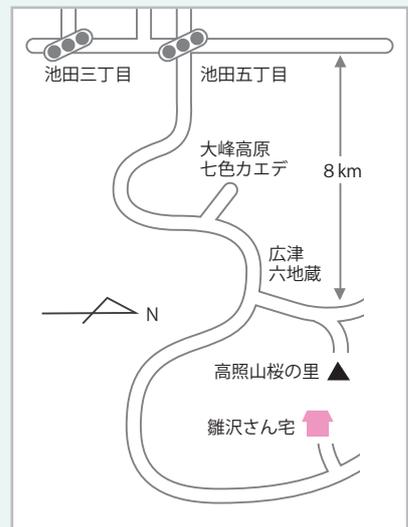


ひなざわ じゅんいち
難沢 潤一さん (広津)

略 歴

- ・昭和9年2月、池田町広津生まれ (82歳)
- ・広津高照山桜の里愛護会代表
- ・高照山桜の百人一首の歌碑保存会代表
- ・平成12年から14種類の桜4000本、平成14年からシラネアオイ4500株を植栽。
- ・平成18年に山頂に山桜を詠む百人一首の歌碑建立開始、平成24年完成。
- ・平成24年「公益財団法人日本さくらの会」から長年の功績が認められ、「全国さくら功労者」として表彰される。

難沢さん連絡先 電話62-8057



議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

県道大町・明科線5丁目の信号から東山に約8km入った広津六地蔵を左折した所が「高照山桜の里」入り口である。

山頂(標高919m)では山桜、北アルプス・戸隠・浅間山の山並み、百人一首の桜の歌碑、シラネアオイを楽しめる。

◎高照山を山桜の里にしようとしたきっかけは？

難沢 大町高校卒業後、35年間広津の自宅で家業の酪農(ミルク生産)を継ぎ、頑張ってきた。60歳を過ぎて体調を崩し、検査の結果、直腸癌だった。何回も手術を



歌碑を建立した。そんななか病状も回復した。平成24年には桜の女王ミス日本、玉川恵都子さん(写真)を招

受け、「余命はあと5年」と言われた。「寿命は限られているから何かできることをしよう」と思いを巡らした。受け継いできた山林の荒れ放題が気になり、大好きな桜を植え、「山桜の里にしよう」と活動を開始した。

◎今までの取り組みについての思いは？
難沢 私の取り組みに共感した有志が翌年に愛護会を立ち上げて、協力してくれました。おかげで山は桜で一杯になりました。知人の紹介で綺麗な紫色の花が咲くシラネアオイも植え始めた。また、短歌を楽しんでもらおうと、桜を詠んだ百人一首の

歌碑を建立した。そんななか病状も回復した。平成24年には桜の女王ミス日本、玉川恵都子さん(写真)を招



山桜が咲き誇る春の高照山

シラネアオイ

き、桜の歌碑建立竣工式を安曇野スイス村サンモリッツで行ったことは感慨深い。

◎今後の課題は？

難沢 私も含め、愛護会の会員が高齢化し、活動に支障もでてきた。4月から本格的に組織の立て直しに取

◎町・議会へ望むことは？

難沢 地域の絆を強め、美しく住みやすい広津を目指したい。広津の活性化のため、町・議会にはいっそうのお力添えをお願いしたい。

編集後記

よりわかりやすく、親しみやすい議会だよりの編集を考えると今年度から「議会だよりモニター」を募集いたしました。

4名のモニターさんからは、率直なご意見で感想ばかりでなく、写真や構成、ちょっとした活字の大きさや見出しの工夫など、たくさんアイデアをいただきました、さっそく、次号の編集へ反映させていきたいと思います。

今年も西暦。日本でも鶏は新たな時代を開く吉祥のシンボルとか。町民のみなさんの声を活かし、読んでいただける「議会だより」の発行をと思えます。

(大蔭奈美子議会事務局長)

議会報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 薄井 孝彦 |
| 副委員長 | 桜井 康人 |
| 委員 | 倉科 栄司 |
| | 矢口 稔 |
| | 大出 美晴 |
| | 立野 泰 |